

『翻訳老乞大』の「了」の朝鮮語訳をめぐって

伊藤 英人

1. 前言

十五、十六世紀の朝鮮語、すなわち後期中世朝鮮語(以下:中世朝鮮語或いは朝鮮語)の資料は、そのほとんどが漢語との二言語資料(諺解)である。このため、中世朝鮮語の文法研究においては常に原文の漢語を参照する必要がある。ITO(2004:34)で指摘したように、これら漢語原文の大半は仏教漢文を含むいわゆる「漢文(文言)」で書かれており、漢文はテンス、アスペクト、ムードなどの文法標識を著しく欠く言語であるため、統語論的な観点から原文を参照することは可能であっても、中世朝鮮語のテンス、アスペクト、ムード標識の研究に漢文原文を参照することは困難である。一方、漢語の口頭語を反映した近代漢語は、アスペクト、ムードなどを表す虚詞を多く含んでおり、近代漢語の中世朝鮮語訳資料は、原文との対照によって中世朝鮮語の上述の文法標識の意味用法を研究することが可能な資料となる。¹⁾伊藤英人(2004)、ITO(2004)は、十五世紀に刊行された近代漢語・中世朝鮮語二言語資料である『蒙山和尚法語略録諺解』における原文の文法標識の朝鮮語訳について考察を行なった。その結果、訳者の慧覚信眉は他の漢文諺解と比べ意識を多く含む朝鮮語らしい翻訳を試みており、その過程で近代漢語の文法標識に対する没理解に起因すると見られる誤訳が存在しているなどの事実が明らかになった。²⁾

本稿では崔世珍(1467-1542)によって注音と翻訳が施された『翻訳老乞大』に現われる助詞「了」の中世朝鮮語訳について考察を行なう。『蒙山和尚法語略録諺解』の翻訳者慧覚信眉が近代漢語については言わば素人であったのに対し、崔世珍は中宗代を代表する通訳官、漢語・吏文学者であり、『老乞大』、『朴通事』の注音・翻訳、『四声通解』の編纂等、中宗代の漢語教育研究を主導する役割を果たした。語法に関して言えば、『老朴集覧』に収められる「単字解」においていわゆる虚字等について『老乞大』、『朴通事』新旧両本を材料に注釈を加えており、しかるのちに『翻訳老乞大』の中世朝鮮語訳を行なったと考えられるた

め、『翻訳老乞大』に現われる個々の文法標識の翻訳に関して専門家として意識的であったことが予想される。³⁾ 同時に崔世珍は中世朝鮮語の話者であった。近代漢語の文法標識に通じた人物の手になる中世朝鮮語への翻訳資料は、『翻訳老乞大』、『翻訳朴通事』の両書を措いて他にないということができる。

2. 本稿の目的

本稿は、『翻訳老乞大』原文に現われる助詞「了」が、崔世珍によって如何に朝鮮語訳されているかの検討を通して、崔世珍の原文解釈と『翻訳老乞大』に見られる中世朝鮮語のテンス、ムード、アスペクト形式の意味用法とについて考察することを目的とする。

3. 中世朝鮮語のテンス、ムード、アスペクト形式

中世朝鮮語には、テンス、アスペクト、或いはムードを表す先語末語尾として次のような形式が存在する。⁴⁾

			先語末語尾
①不定法	hAda	した	{-φ-}
②直説法	hAnAda	する	{-nA-}
③回想法	hAdera	した	{-de-}
④確認法	hAgeda/hA'iada	した	{-ge-}/{-a/e-}
⑤推測法	hArira	するだろう	{-ri-}
⑥推測確認法	hAri'eda	するだろう	{-ri'e-}
⑦推測回想法	hArirera	しそうだった	{-rire-}

上の「不定法」以下の名称は、高永根(1981, 1997)による。日本語動詞「する」によって各形式の近似値としての訳を示した。これらの形式をいかなる文法範疇として捉えるかは、研究者によって大きく異なる。高永根(1981, 1997)は、各形式の名づけからも分かるようにこれらを「法(ムード)」の対立と見なしている。河野六郎(1952)ではこれらを「①基本語幹, ②現在語幹, ③未完了語幹, ④強勢語幹, ⑤第一未来語幹」のように基本的にテンスおよびアスペクトと見なしている。安秉禧・李珖鎬(1990:227)はこれらをアスペクト標識とし、「②現在時相, ③過去時相, ④過去時相, ④未来時相」と名づけている。志部昭平(1987,

1990)は「①不定, ②現在, ③回想, ④強勢/完了, ⑤将然」としている. 日本語の「した」に相当する{-φ-}, {-de-}, {-ge-}のテンス・アスペクト・ムードの観点からの違い, また, {-nA-}のテンス的意味等が問題となる. これらのうち, もっとも見解の異なるものが, ④hAgeda/hA'iada である. 高永根(1981, 1997)はこれを「確認」というムードと考え, 河野六郎(1952)も「強勢」という一種のモーダルなものとしてこれを認めている. 一方, 安秉禧・李珧鎬(1990)は③とともに「過去時相」を表すとし, 志部昭平(1987, 1990)は hAgeda を「強勢」としつつ, hA'iada を「完了」すなわち, パーフェクトを表す形式と見なしている.

これらの先語末語尾は用言の終結形⁵⁾において十全にその意味を実現する. 接続語尾⁶⁾のうち, {-ni}の前にも現れ得るが, 先語末語尾と接続語尾{-ni}が一体化して, 終結形におけるものと異なる意味をもつ場合がある.

一方, 二語以上にまたがる分析的形式によって表されるアスペクト形式として, {-e bArida}(終結), {-e 'isda}(状態)等がある.⁷⁾

4. 「了」の朝鮮語訳の分析にあたって

4.1. 「単字解」の「了」

『老朴集覽』の「単字解」で崔世珍は「了」に対して次のように言及している.

語助去了 又決絶之意 了不得 又了當⁸⁾

ここでは単に「語助」であるという言及がなされているのみで, 例として「去了」が挙げられているのみである. このため「単字解」からは語助としての「了」の機能についての崔世珍の見解を知ることが出来ない. 以下, 『翻訳老乞大』本文の「了」の朝鮮語訳から崔世珍が語助としての「了」をどのように捉えていたかを見てゆくことにする.

4.2. 分析の対象

『翻訳老乞大』原文には都合 304 回「了」の字が現われる. それらの朝鮮語訳を見, まず朝鮮語の本動詞に訳されているもの及び「除了〜」, 「休 V 了〜」のようなものを対象から除外する. 訳文を基準にして, 終結形と接続形{-ni}に

終る用例と、その他の接続形の用例、連体形及び体言形の用例に三分する。終結形の用例を中心に3で述べた先語末語尾の用法を原文の「了」の用いられ方を勘案しつつ考察する。先語末語尾の出現しない諸形式についてはどのような形式が出現するかを概観するに留める。本稿における句節の切り方は、部分的には金文京ほか(2002)及び先行研究を参照するものの、すべて崔世珍の解釈に従う。周知の如く、漢語はどこまでが一文であるか、解釈が異なり得る場合が多く、特にいわゆる「了₁」と「了₂」の問題に関しては、文がそこで終わっているのか、さらに続いているのかは重要な問題となる。⁹⁾ 朝鮮語は、終結形か接続形か連体形か体言形かによって、文の切れ続きは明白である。本稿は崔世珍の解釈に従った上で、「V了O」のように明白に「了₁」すなわち動態助詞である場合はともかく、単に「V了」となっている場合、「旧本」の当該部分の助詞を参考にとりあえずの分類を試み、それらの朝鮮語訳を見ていくことにする。¹⁰⁾ 上述の分析的形式によるアスペクト、ムードは、終結形、接続形、連体形、体言形を問わず現れ得る。これらは別のものであり、終結形に続けて考察することとする。以下の如き例を考察の対象から除外する。

(1) 到那裏便了 (下 18b4)

die gamien god gyjei'enistana(ni) ¹¹⁾

あそこに行けばすなわちその時までのことだ。

(2) 我也了了 (上 22b3)

nado mAcAriroda

私も終えよう。

例文(2)のように「了」を{mAc-}「終える」に訳しているものに以下の例がある：成交了罷:hyngjeng mAc-「取引終える」(下 13a8, 下 66b6); 成了罷:hyngjeng mAc-「取引終える」(下 12a8); 成了罷: mAc-「終える」(下 13b9); 喫了時: megi mAc-「食べるの終える」(上 42b3); 喫了時: megumyr mAc-「食べるのを終える」(上 43a7); 喫了飯時: megi mAc-「食べるの終える」(上 56a5, 上 56a7); 喫了飯也: megi mAc-「食べるの終える」(上 45b4); 比及駝了時: cimsiri mAcArs gAr'oa「荷積み終えるとともに」(上 45b3)

上の例を見ると例文(1)(2)のような原文の本動詞以外にも「V了N也」の「了」のようなものを朝鮮語の{mAc-}「終える」に翻訳している例が存在することが

分かる。また原文の「休 V 了」, 「不要 V 了」は例外なく{~mar-}「~するな, ~せずに」に訳されている。また, 「除了~」は 3 回出現するが, うち 2 回は {oi'iei}「のほかに」, 1 回は, 除了五兩銀子(下 20a2)は, das riang 'yr derenai 'ie「五兩を差し引いて」という, 後述する接続語尾{-e}に訳している。さらに, 幾時切得了: 'enyjei sahArrjo「いつ切れるだろうか」(上 19a4)のような「~しきれる」の「得了」の例も除外する。また, 到下處/收拾了行李時:hiaciu 'ei ga/jimdAr ser 'esnora hAmien「宿に行つて荷を(私は)片付けたぞと言つたなら」(上 58b2)のように意識されていて対応の不明な例も除外する。以上の如き例を考察の対象から外し, 以下にまず終結形の例から見ていくことにしたい。

5. 終結形の例

5.1. 先語末語尾{-ge-}, {-e-}を含む例

崔世珍が終結形に訳した「了」のうち, 先語末語尾{-ge-}, {-e-}を含むものは, 34 例である。そのうち, 句末助詞(いわゆる「了₂」)と思しき「了」が 30 例, 動態助詞(いわゆる「了₁」)と判断される例は 4 例, である。¹²⁾「旧本」との対応による分類を示せば以下の通りである。A. 「旧本」で「也」となっている, B. 「旧本」で「了也」となっている, C. 「旧本」も「翻老」も「了也」である, D. 「旧本」で「φ」となっている, E. は「旧本」, 「翻老」とともに「了」のものである。¹³⁾

A.

(3) 這肉熟了(上 22a4)

'i gogi niggeda

この肉煮えた。

(4) 這的燈來了(上 25a8)

'i byr 'onada

この燈来た。

(5) 客人們洗面了(上 61a8)

nagynainei nAs siseda

お客たち顔洗つた。

さらに A に属するものは以下の例である: 理會得了: 'ar 'oara「分かつた」(上

35b9) ; 鷄兒叫第三遍了 : dArgi 'uren di sei hoai 'eda 「鶏が鳴いて三回目である」(上 38a7); 飯也喫了 : babdo megeda 「飯も食った」(上 57a8); 你来 : nei 'onanda 「お前は来たのか」(上 58a3); 明星高了 : saibaibieri nobgeda 「明けの明星が高い(高くなった)」(上 58a8); 駝馱都打了 : cimsiri da hA 'iada 「荷積み全部やった」(上 59a2); 我赢了 : nai 'igi 'oada 「私が勝った」(下 37a7); 煮熟了 : sArma niggeda 「茹でて火が通った」(下 38b7); 都完備了 : da gAsgeda 「みな備わった」(下 39a4); 我寫了一箇契了(「旧本」:「也」):nai 'ihAn gyr 'oar ssygoara 「私はこの一つの文書を書いた」(下 16a2)

最後の例は動態助詞の「了」と句末助詞の「了」のいずれを訳しているとも定め難い。

B.

(6) 這馬都飲了 (上 37a6)

'i mAr myr da megieda

この馬,水みな飲ませた.

(7) 茶飯也飽了 (下 35b2)

cabando bAi byrygoangida

食べ物も腹いっぱいになりました.

さらに B に属するものは以下の例である : 咱們飯也喫了 : 'uri babdo megeda 「我々飯も食った」(上 62a3); 牙税錢都算了 : 牙錢税錢 do da hiei 'ieda 「仲介料と税金もみな勘定した」(下 18a8); 這箇馬悔了 : 'i mAr myrreda 「この馬駄目になった」; 射的歪了 : bsomyr kiuro hA 'iada 「射るのを斜めにやった」(下 37a1); 這筵席散了 : 'i 'ibadi kaksanhA 'iada 「この宴会が終った」(下 39b5); 這銀子都看了 : 'i 'yn da bogoara 「この銀子みな見た」(下 64a7)

C.

(8) 其餘的馬契/都寫了也 (下 17b6)

gy namAn mAr gyr 'oardo/da sse(ss)da

その他の馬の文書もみな書いた.

さらに C に属するものは以下の例である : 駝馱都打了也 : cimsiri da hA 'iada 「荷積み全部やった」(上 46a4); 我看了也 : nai da bogoara 「私がみな見た」(下

8a9)

D.

- (9) 這的燈來了 (上 57a5)

'i byr hieni 'onada

この火を燈したのが来た。

なお這裏定害了 'iegyi ner 'igoangida「こちら迷惑を掛けました」(上 59a5) は「旧本」では「這裏定害了恁」となっている。

E.

- (10) 那幾箇客人/将布子去了 (下 65a)

die 'iere nagynai /boi gajie nigeda

あの何人かの客人は/布を持って行った。

- (11) 我恰纔睡覺了 (上 57b3)

nai 'asga gAs sgAi 'oada

私は今しがた起きた。

さらに E に属するものは以下の例である：你却來了：nei sdo 'onada「お前がまた来た」(上 68b6)；各自散了：gagsanhA 'iada「お開きになった」(下 72a9)

句末助詞「了」が{-ge-},{-e-}を含む終結形に訳された例がこのように多いのに対して、動態助詞、すなわち「V 了～」がこの形式に訳された例は次の 4 例である。

- (12) 咱們今日筵席/喫了多少酒 (下 39a7)

'uri 'onArs 'ibadi 'iei 'enmes su 'yr megenio

我々きょうの宴会でいくらの酒飲んだか。

- (13) 喫了兩銀的酒 (下 39a8)

'yn du riang 'yi suryr megeda

銀二両の酒を飲んだ。

- (14) 喫了酒也 (上 64b3)

su 'yr megeda

酒飲んだ。

- (15) 我寫了這一箇契了 (下 16a2)

nai 'i hAn gyr 'oar ssygoara

私はこの一つの文書を書いた。

例文(14)は「V了N也」全体が{-e-}に訳されていると見るべきであろう。例文(15)は上で見たように「V了N了」全体が{-e-}に訳されていると見るべきであろう。そうした場合、動態助詞「了」が{-ge-}, {-e-}を含む終結形に訳されている例は例文(12)(13)の2例になる。

以上の訳文の検討から以下の諸事実を確認し得る。①{-ge-}, {-e-}を含む終結形は已然変化の句末助詞「了」の翻訳として多く現われる。②高永根(1997)は, {-ge-}, {-e-}の選択は自動詞/他動詞によって自動的に決定されるとするが, ssy-(書く)に{-ge-}, {-e-}の双方が, bo-(見る), ner 'i-(苦める)に{-ge-}が, gagsanhA-(お開きになる)に{-e-}が出るなど, 動詞の自他動とは必ずしも一致しない。③高永根(1997)は{-ge-}, {-e-}を確認法としつつ, 動詞では過去時制, 形容詞のような状態性用言では現在時制を表すとしている。しかし, 上で見た nop-(高い), gAj-(備わる)などに{-ge-}の付いた例は, いずれも発話時において「高くなっている」たり, 「備わっている」状態を見ての発話である。「新事態の発生」の意味の句末助詞「了」と, 発話時点での状態変化の「確認」を意味する{-ge-}, {-e-}は, 類似した文法的意味をもつのではないかと思われる。

5.2. 先語末語尾{-φ-}を含む例

{-φ-}は「不定法」, aorist 等とされ, 過去時制を表すとされる。{-φ-}の例を句末助詞の訳例と思しき例から見ていきたい。ABCD は 5.1.と同様, F は「旧本」その他の形になっているものである。

A.三十五歳了:sierhyn dasAsi-φ-da「三十五歳だ」(上 6a5)のような「NP了」以外に次の例がある。

- (16) 肚子好生飢了。(上 39b2)

bAi gAjang gorpy-φ-da

腹がとても減った。

- (17) 日頭又這早晚了。(下 60a5)

hAi sdo 'iridorog nys-φ-doda

日がまたこんなに遅くなったな。

B.

- (18) 這段子也買了 (下 30a1)

‘ii bidando sa-φ-da

この反物も買った。

- (19) 饅頭餡兒裏使了 (上 39a4)

sanghoas sohai bsy-φ-da

饅頭の餡に使った。

さらに、Bに属するものは以下の例である：都買了：da sa-φ-da「みな買った」
(下 30a9)

C.

- (20) 這些貨物都買了也 (上 70b2)

‘i hoanghoryr da sa-φ-da

この荷をみな買った。

Cに属するものは、全て、買了也：sa-φ-da「買った」の例である：下 28a
7；下 32a 1；下 32b 1；下 32b8

E.

- (21) 往羊市角頭去了 (下 1a9)

羊 jiejei ga-φ-nira

羊の市に行った。

- (22) 我好生飽了 (上 42b9)

‘uri gAjang byry-φ-ngida

私たちとても腹いっぱいになりました。

さらにEに属するものは以下の例である：我七月初頭離了：nai 七月 cosAing
‘ei bdena-(-o-)-φ-ra (bdena-{-o-}-φ-ra)「私は七月初めに出発した」(下 3a 1)；
相別散了：sery ‘iehyi ‘ie na-φ-nira「互いに別れた」(下 20b7)；今年牢裏死了：
‘orhai ‘og ‘aisie jugy-φ-nira「今年牢屋で死んだ」(上 29b7)；那賊道是死了：
gy dojygi nir ‘odAi jugy-φ-nira hAgo「その賊が言うには死んだ、とって」(上
29a9) 最後の例は直接話法に訳されている。

F.

- (23) 來的遲了 (上 1b6) (「旧本」:「了來」)

‘omi dedyi-φ- ‘iora

來るのが遅れた。

- (24) 我昨日冷酒多喫了 (下 40a3) (「旧本」:「來」)

nai ‘ejei cAn su ‘yr manhi meg-φ-ora

私は昨日冷酒をたくさん飲んだ。

- (25) 十分老了 (下 8b2) (「旧本」:「有」)

gAjang nyrg-φ-doda

とても老いているな。

句末助詞の例は以上の 19 例である。次に「V 了～」の 6 例を見てみよう。

- (26) 也尋了些利錢 (上 13a9)

jiegi nicien ‘ed-φ-ura

少し利を(我らは)得た。

- (27) 你從幾時離了王京 (下 3a9)

nei ‘enjei 王京 ‘yisie bdena-φ-nda

お前はいつ王京から出発したのか。

- (28) 因此上/折了這十斤 (下 58b6)

‘iren jiencAro / ‘i ‘iergyn ‘i sgA-φ-doda

こうしたわけでこの十斤が減ったんだな。

- (29) 這車子/折了車網子 (下 36a1)

‘i sur ‘uis bahois /basdor ‘i hAi ‘ie-φ-didoda

この車の車輪の外枠が壊れたな。

さらにこれに属するものとして以下の例がある：離了王京：王京 ‘yisie bdena-φ-nda 「王京から出発したのか」(上 1a6), (上 1a7)；折了十斤 iergyn ‘i sgA-φ-doda 「十斤が減ったんだな」(下 58b2)

{-ge-}/{-e-}と{-φ-}はどこが異なるだろうか。

- (7) 茶飯也飽了 (下 35b2)

cabando bAi byrygoangida

食べ物も腹いっぱいになりました。

(22) 我好生飽了 (上 42b9)

‘uri gAjang byry-φ-ngida

私たちとても腹いっぱいになりました。

上の 2 例は原文も訳文も同一の語であり、両者とも発話時点で腹がいっぱいになっていることを表している。発話の状況から見てテンス・アスペクト的な違いは認められない。

(10) 那幾箇客人/将布子去了 (下 65a)

die ‘iere nagynai /boi gajie nigeda

あの何人かの客人は/布を持って行った。

(21) 往羊市角頭去了 (下 1a9)

羊 jiejei ga-φ-nira

羊の市に行った。

上の 2 例は、原文における動詞及び発話の状況は同一であるが、訳文は{-ge-}と{-φ-}の違いのみならず異なる動詞を用いている。両者とも E に属す。{ni~nie-}は『訓蒙字会』下 11b10 に「行」の訓として、{ga-}は『新增類合』下 19a に「去」「往」、上 10b に「之」の訓として現われる。訳し分けの理由は不明である。

(30) 咱們飯也喫了 (上 57a8)

‘uri babdo megeda

我々飯も食った。

(24) 我昨日冷酒多喫了 (下 40a3)

nai ‘ejei cAn su ‘yr manhi meg-φ-ora

私は昨日冷酒をたくさん飲んだ。

上の 2 例は発話の状況が異なる。(30)は飯を食べ終わった時点での発話、(24)は「昨日：‘ejei」という時間副詞が示すように過去のある時点で 1 回性をもって起こった出来事を表す文である。(30)は B、(24)は F すなわち「旧本」で「了來」であったものである。時間副詞を伴い、過去のある時点で 1 回性をもって起こった出来事を表す「了」：{-φ-}の例として、次の例がある：我七月初頭離了：nai 七月 s cosAing ‘ai bdena-φ-ra (下 3a1)；今年就牢裏死了：‘orhai ‘og ‘aisie jugy-φ-nira (上 28b7)；幾時離了王京：‘enjei 王京 ‘aisie bdena-φ-nda (上

1a6) ; 從幾時離了王京 : 'enjei 王京 'aisie bdena-φ-nda (下 3a9)

時間副詞はないものの文脈から過去の 1 回性の出来事であることが分かる例は、例文(19)と(29)である。伊藤英人(1992, 1994, 2001)で指摘したように、{-φ-}は、1 回性をもって過去時に生起した事柄を表す。ここで述べたような動態助詞を含む「了」の例の朝鮮語訳に{-φ-}が多用されている事実は「了」の多義性の訳し分けと見なし得るかも知れない。

さらに{-ge-}, {-e-}との違いで注目を引くのは感動法先語末語尾の共起が{-φ-}に目立つ事実である。¹⁴⁾ 和訳では機械的に「～な」をつけて訳しておいたが、例文(17), (25), (28), (29)及び折了十斤 : 'iergyn 'i sgA-φ-doda「十斤が減ったんだな」(下 58b2)である。{-ge-}にも{-goasora}, {-goasongida}のように感動法先語末語尾が付き得るのだが、『翻老』中の「了」の訳には見出せなかった。

なお、相別散了 : sery 'iehyi 'ie na-φ-nira「互いに別れた」(下 20b7)は訳文ではあたかもト書きのように「已然変化」に訳されている。これは「旧本」もまったく同一の文だが、金文京ほか(2002)では対話文中の発話として「それじゃあ別れてめいめいのところへ行こう」と訳されている。

5.3. {-eira}に訳されている例

次に{-eira}に訳されている 4 例をしてみる。

A.

- (31) 我其實肚裏飢了 (上 52b5)

nai jinsirro bai gobpaira

私は本当に腹が減った。

- (32) 今日早晨/纔喫些粥/較好些了 (下 41a7)

'onAr 'acAmAi/ gAs jiug meguni/ jiegi diohaira

今朝やっとお粥を食べて少しよくなった。

さらにこれに属するものは次の例である : 好生的飢了 : gAjang bai gobpaira「とても腹が減った」(上 53b2)。

F.

- (33) 還虧着我了 (下 13a1) (「旧本」:「猶自虧著俺有」)

daha naigei sier 'eira

これはまた私にとって損だ。

{-eira}には志部昭平(1982)の専論があり、「発話の時点においての、主にある状態的事柄内容について述べるものであるが、その陳述の態度は、話し手がその事柄内容を心理的に話し手自身に深く関わるものとして捉え、相手に対して強く感情を込めて説明的に陳述するもの」と規定している。例文(31)と上 53b2は、何とか米を分けて欲しいと相手に頼んでいる場面であり、例文(16)は仲間内でのやりとりであることを見ると志部昭平(1982)の説明に合致する。いずれも「也>了」で、漢語としては区別されていないものを朝鮮語で訳し分けている。さらに言うならば、例文(31), (32), (33)の朝鮮語はいずれも形容詞だが、「～な状態になった」という「新事態の発生」後の状況を訴えているものであり、{eira}は、{-ge-}に連なる用法をもっていると判断される。

5.4. 先語末語尾[-de-]を含む例

次に{-de-}について見てみる。

F.

(34) 我夜來錯記了 (上 59b8)

nai 'ejei gyry sAinggaghAdosdengida

私は昨日間違えて考えていましたな。

これは「旧本」で「了來」となっていたものである。「來」については稿を改めて論じたいが、在先只是土塔的橋來 (上 39a1), 都安樂來 (下 3a5), 又有嚏噴來 (下 4b1)等々の訳文には共通して{-de-}が現われている。

「V了～」で{-de-}が現われるのは「不曾V了～」の次の1例である。

(35) 那賊左{月乞}膊上射傷/不曾傷了生命 (上 30b4)

gy sarAmi 'oin pArdog 'ai sar maja sianghA 'iasgo/ siengmieng

'yn siangti 'anihAdosdera

その賊は左腕に矢を受け怪我をしたが、生命は損なわなかった。

5.5. 先語末語尾[-nA-]を含む例

上で見てきた先語末語尾は、テンス的には過去時制に関わるものであった。

次に現在・未来時制と関わる {-nA-} の例を見てみる。

A.

- (36) 一霎兒熟了 (上 22a4)
‘anihan sAzi ‘iei nignAnira
暫くで煮えるのだ。
- (37) 低射時/竄到了 (下 37a3)
nAsga ‘i bsomien/ gyndyge ganAnira
低く射ると横揺れして行くのだ。
- (38) 日頭落了 (下 39a5)
hAi dinAda
日が落ちる。

B.

- (39) 那箇不是李舍來了 (下 1a4)
diei ‘ani 李 gai onAnie
あれは李さんが来るところじゃないか。
- (40) 人叫喚大了 (下 36b9)
sarAmi jisgyrhiumyr kygei hAnAda
人が叫ぶことを大声でしている。
- (41) 将草都抛散了 (上 24b7)
dibpyran da hetie dedinAnira
草はみな撒き散らしてなげるのだ。
- (42) 又買了這些馬并毛施布來了 (上 15b3)
sdo ‘i mAr ‘oa mosiboi sa onora
またこの馬とからむしの布を買って来るところだ。

F.

- (43) 縱有五分病/添做十分了 (上 47b8) (「旧本」:「也者」)
dasbun bieng ‘irado ‘ierbun ‘i do ‘yi ‘ie ganAnira
五分の病でも十分に重くなっていくのだ。

例文(36), (37), (41), (43)は{-nira}「~のだ」という語尾を伴い、事柄の成立時を特定しない超時間的な{-nA-}の用法となっている。(36), (37)などの「将

然変化」とも取り得べき「了」を成立時に無関係な{-nAnira}に訳している。(38), (39), (40), (41), (42)は眼前に起こりつつある事柄の描写である。このうち、(38)は金文京ほか(2002:273)で「旧本」の「日頭落也」を「もう日も暮れた」と訳しており、竹越孝(2002:48)も「也」に関して「已然変化」としている。崔世珍は「日が落ちる」という眼前に進行しつつある事態としてこれを訳している。(40)も文脈から見て眼前の事態の進行の例である。興味深いのは(39), (42)である。「来るところだ」と仮に訳しておいたが、漢語原文について言えばこれは「すでにやって来た」ことを指すと解してよいと考えられる。崔世珍がこれを{-nA-}で中世朝鮮語に訳しているのは、興味深い。現代朝鮮語においても、やって来るものが視界に入った場合や、自分の場所が来者の最終目的地でない場合には、中世朝鮮語の‘onAdaに由来する‘ondaを用い、過去テンス形式を用いないが、こうした動詞{‘o-}「来る」のアスペクトの特徴は中世朝鮮語以来のものであることが伺えるからである。¹⁵⁾

動態助詞「了」が{-nA-}を含む形に訳されているのは次の2例である。

(44) 前後住了多少時 (上 15a3)

前後 ‘ei ‘enmeina memynAnda

前後どのくらい留まっているのか。

(45) 也尋了加五分利錢 (上 14b8)

sdo hie(he)jyi ‘unAn nicien ednora

また大きな利を得た。

原文はいずれも発話時以前に完成した事柄を叙述する「了」の例であると考えられる。(44)は発話時点を含む現在の事柄と解し得るが、(45)は問題である。

「旧本」は「也覓了加五分錢」, 「老諺」は原文は「翻老」に同じく、訳は sdo hiejyi ‘on nicien ‘yr edyrrera(また大きな利を得られた)と{-de-}を含む、つまり経験ないし回想を表す先語末語尾に訳されている。伊藤英人(1994:15)で論じたように、河野六郎(1952, 1979:512-519)は『月印釈譜』巻一 36b に出る ‘ednora を{-nA-}の contextual meaning としての「現在完了」と見ている。高永根(1981, 1998)は{-nA-}に「完了相表現」の用法を認めつつも上掲河野論文の例を現在進行と見なしている。{‘ed-}には telic 動詞の「得る」と atelic 動詞の「探す」の両義があり、上掲河野論文の例は後者と見なされるため、高永根(1981, 1998)

の見解が正しい。しかし例文(45)は、「得た、もうけた」の意と捉えられ{‘ed-}の telic 動詞の例として発話時以前の用法を表す{-nA-}との結合例ではないかと思われる。同様の文脈でほぼ同一の例文(26)が‘edura という{-φ-}になっていることも参考になる。{-nA-}も感動法先語末語尾を伴う形が見られない。

5.6. 先語末語尾{-ri-}を含む例

先語末語尾を含む終結形の最後に、未来、意志、推量などと名づけられてきた{-ri-}を含む例を見てみよう。予想される如く、句末助詞の用例と思しき例の訳が大半を占める。¹⁶⁾

A.

(46) 自然熟了 (上 20a)
jAzienhi nigyrira
自然と煮えるだろう。

(47) 将次有了 (上 22b1)
jiangcAs ‘isirira
すぐにあるだろう。

さらに A に属するものは以下の例である：我也了了:nado mAcAriroda 「私も終えるだろうな」(上 22b3);天亮了:hanArhi bArgAriroda 「夜が明けるだろうな」(上 38b1);勾射了:‘iu ‘iehi bsoriroda 「充分に射られるだろうな」(下 36b7);咱們滿了:‘uri cAriroda 「我々は満ちるな」(下 37a7)

(48) 那兩箇到來了也 (66b9)
die durto ‘orira
あの二人も来るだろう。

D.

(49) 不爭將去時/連其餘的馬/都染的壞了 (下 19a5)
mydenhi negie gajiegamien/ darAn mArjoca/ di(da) dienzienhA
‘ia hAi ‘iadiriroda
軽く考えて持っていくと他の馬までみな伝染して駄目になるだろうな。

F.

再着五箇日頭到了:‘ied dassoaiman dumien garira 「いま五日もあれば行けるだ

ろう」(11a1);官人也做了:goan 'uendo doi 'oirira「役人にもなるだろう」(下 42b2);
 成得人了:sarAm doi 'oirira「人になるだろう」(下 43a6)以上, 旧本は「也者」;
 待天明了也 (旧本は待明去也):hAma hanArdo bArgAriroda「空が明るくなるだろ
 うな」(上 38a7)

「V了～」で{-ri-}を含む終結形に訳されているのは次の例である。

(50) 便有十分病也減了五分(下 42b2)

god 'ierbunmanhAn bieng 'irado dasbun 'ina derrira

すなわち十分ほどの病でも五分も減るだろう。

さらに以下の例がある：就這裏上了弓者:dydi 'ie 'ieisie hoaryr jihurira「つい
 にここで弓を張ろう」(下 32a4);悞了你多少功夫:nei 'enmes gongburyr memyr
 'urio「おまえがどれほどの時間をぐずぐずするだろうか」(上 67b5)

なお, {-ri-}と同じ機能を持つ語尾{-rga}に訳されている例に

(51) 那火伴如今趕上來了不曾 (上 1b8)

gy bedi 'ijej mice 'orga mod 'orga

その連れがいま追い付いて来るだろうかそうでなかろうか。

がある。これはすでに追い付いたか否かを尋ねる文と思われるが、朝鮮語訳では
 将然に訳されている。¹⁷⁾{-ri-}には感動法先語末語尾を伴う例が多く出現する。

5.7. 先語末語尾を含まない終結形の例

終結形のうち、叙述、疑問の諸語尾には先語末語尾が先行し得るが、意図、
 勧誘、命令形などは先語末語尾と結合しえない。以下ではそれらについて見る
 ことにする。以下では句末助詞と動態助詞の例をまとめて示す。

一人称の意図を表す語末語尾{-oma}「～しよう」の例から見よう。

(52) 我與你尋主兒都賣了 (上 69b5)

nai ne 'uihA 'ia nimja 'ede da pAroma

私がお前のために買主を探してみな売ろう。

(53) 我減了五錢着 (下 22b3)

nai dasdon deroma

私が五錢まけよう。

いずれも 5.6. の{-ri-}の用例につながるものである。次に勧誘の{-jie}「～し

よう」の例を見る。

- (54) 咱們算了牙稅錢着 (下 17b6)

‘uri jyrymsgab gyr ‘uer besgirs gabdAr hieijie
我々手数料の文書に書く値段を計算しよう。

- (55) 儘晚到了王京 (上 59b1)

gAjang jiemgyr ‘edyn jas ‘anhai dyregajie
日がすっかり暮れたら城内に入ろう。

他に算了房錢火錢着: ‘uri jibsagsimie bab jizyn gabdAr hieijie 「我々部屋代と木賃を計算しよう」(上 22b6);看了銀子: ‘yn bojie 「銀子見よう」(下 63a5); 咱們人蔘價錢/也都收拾了: ‘uri zinsAmas gabdo da gansiuhAjie 「我々人蔘代もみな取っておこう」(下 65b1), さらに, 上 36b 1, 上 62a4。 {-oma}の例と併せて「V了O着」の例が目につく。例文(55)は「旧本」では「儘晚到王京去也」となっている。

命令形{-yra}に訳される例は「了着」を含む以下の例である: 你算了着: nei hieira 「お前が計算しろ」(下 63a7); 你都喫了着: nehyi da megyra 「お前たちみな食え」(上 42b1); 攔門蓋兒都把了: gAs ‘oa mun dyr ‘edyn siunBAi hAn jangom badjA ‘ora 「門を入れて来たばかりならお流れを一杯つつ頂戴しろ」(下 35a1) 「旧本」は「了也」; 一箇家說了價錢: hAnakom gabsyr niryra 「一りつつ値を言え」最後の2例は金文京ほか(2002)の解釈とは異なっている。詠嘆の語尾{-yrssie}に訳されているのは次の1例である。

- (56) 可惜了 (下 36a2)

‘asg ‘orssie
もったいないな。

5.8. 「了」と先語末語尾

動態助詞「了」を訳した例と、句末助詞と考えられる「了」を訳した例について、終結形に現われる先語末語尾の分布を見れば以下の如くである。

	ge/e	φ	eira	de	nA	ri
動態助詞	2	7	0	1	2	2
句末助詞	29	20	4	1	8	12

句末助詞「了」が先語末語尾{-ge/e-}を含む終結形に訳されていることが目につく。{-ge/e-}を高永根(1997)は「確認法」とする。一方、佐藤晴彦(2002:29)は<「旧本」と「翻老」の「也」と「了」について>はそれまで「新しい事態が発生したということを確認する語気」という機能があったのであろうが、『翻老』の時期にはその機能が文末の<了>に吸収されていくかのように、改訂、削除されていくのである。>としている。上で見たように、{-ge/e-}の訳例の原文には「旧本」の「也」を「了」に変えた例が多く含まれている。句末助詞「了」の「新しい事態が発生したということを確認する語気」の訳に「確認法」とされる先語末語尾が多く見られることは注目に値する。また、{-eira}が先語末語尾{-e-}を含むことを勘案すれば「事態発生の確認」としての叙述の語気をこれに見出すことが出来る。また、一回性を持つ過去時の事態を表す「了」の訳には{-φ-}が用いられるようである。「已然変化」の訳には{-ge/e-}と{-φ-}が、「将然変化」の訳には{-nA-}と{-ri-}が主に用いられるが、「将然変化」の「了」の訳として現われる{-nA-}は{-nAnira}「～するのだ」という超時間的叙述の形で用いられている。一方、{-nA-}には現在完了としての用例が見られ、また「來了」の訳語として現われる動詞{'o-}「来る」に{-nA-}のついた形式には現代朝鮮語に繋がる意味用法が観察される。感動法先語末語尾との共起は、{-φ-}、{-nA-}には見られず{-ge/e-}、{-ri-}には現われる。

6. 分析的形式によるアスペクト形

6.1. {-e 'is-}

「状態」を表す{-e 'is-}(高永根 1997)が「了」の訳に用いられる例を見てみよう。

(57) 我又忘了一件句當 (上 29b3)

na sdo hAn 'ir nijesdangida

私はまた一つのことを忘れていました。

動態助詞の訳として用いられているのはこの例と下 61b9 の 2 例である。

(58) 我的飯熟了 (上 40a8)

'uri babi nige 'isnAni

我々の飯が炊けているので

(58)は「旧本」で「也」である。早修起了:bArssie gotie 'isnAni「すでに直してあるが」(上 26b1)は「旧本」で「了也」である。他に「旧本」でも「了」, 或いは「旧本」に該当部分がない「V了」が{-e 'is-}に訳されている例は, 上 26a8, 上 29b3, 上 39a2, 下 4b9, 下 15a1 下 31a8, 下 53a7 の 7 例である。

(59) 如今修起了不曾 (上 26a9)

'ijei gotie 'isnAnga mod hA 'iasnAnga

いま直してあるか出来ていないか。

上 22a9, 下 66a2 等においても「V了不曾」は{-e 'is-}を含む附加疑問文に訳されている。

6.2.[-e bAri-]

「終結」を表す{-e bAri-}(高永根 1997)が「了」の訳に用いられる例は次の 1 例である。

(60) 扯了文書着 (下 20a5)

gyr 'uer myihie bArira

契約書を破ってしまえ。

7. 接続形

7.1. [-ni]

接続形語尾のうち, {-ni}はその前にテンス, アスペクト等の先語末語尾が来る。各形式の現われ方の分布を見てみよう。

	-geni/-eni	-ϕni	-nAni	-rini
V了0	1	4	1	0
V了	2	8	2	1

已然と将然の双方に関わる{-nA-}を含む {-nAni}の例を見ておこう。

(61) 如今辭別了 (下 73a3)

'ijei 'iehyi 'ie ganoni

いま(私は)別れて行くが

(62) 好媳婦/別人取了 (下 42a4)

diohAn giejbdo darAni 'ednAni

よい妻も他人が得るし

(63) 壞時壞了我的家私 (下 49b6)

hA 'iabAriedo nai jisgesyr hA 'iabArinAni

破っても私の家のものを破るのだから

(62), (63)は一般的事実を表す現在時制に通有の用法と考えられるが、(61)は直後未来の用法と考えられる。アクチュアルな直後未来を意味する{-nA-}は終結形では見られなかった例である。

7.2. その他の接続形

本稿は「翻老」の「了」の翻訳に見られる中世朝鮮語のテンス、アスペクト形式について考察するものであるため、テンス、アスペクト形式の出現しない接続形に関しては簡単に現われ方を見るに留める。はじめに{-go}「～して」から見てみよう。

(64) 師傅上受了文書 (上 3a1)

sysyngnimsgyi gyr dydjAbgo

先生に書物を教わって

(65) 官司檢了屍 (上 29b1)

gu 'yi 屍身 'yr gemsihAgo

役所で屍体を調べて

(66) 鬆了肚帶 (上 39b4)

'orang nycugo

腹帯を緩めて

{-go}に訳された「了」全体 46 例中、このように「V 了 O」の形を取るものが 15 例に及ぶ。残りの 28 例中「V 了時」が{-go}に訳されているものは 4 例である。次に{-e}「～して」の例を見てみる。

(67) 賣了貨物 (上 14b9)

cienriang pAra

お宝を売って

{-e}に訳された「了」全体 20 例中、このように「V 了 O」の形を取るものが 9 例に及ぶ。5.8 で見たように動態助詞「了」が先語末語尾を含む終結形に訳さ

れる例が少なかったのに対して、代表的な接続形{-go}, {-e}に訳された「了」に占める「V了O」の数は多い。本稿は「了」自体についての考察を試みるものでないが、崔世珍は原文を従属節的な「V了O,」, 「V了,」と解して{-go}, {-e}の接続形に訳したものと考えられる。{-go}, {-e}のいずれが選択されるかについても「了」との関連から考察すべきであるが、なお後攷に俟つ。他の接続語尾に関して「了」との関わりから注目し得るものは、条件節を作る接続語尾である。{-mien}「～したら」10例中、「V了時」, 「V了O時」の訳例が7例である。{-gedyn/-edyn}「～したら」10例中、「V了時」, 「V了O時」の訳例が8例である。{-edo}「～しても」2例中、「V了時」は1例である。「単字解」の「時」に「猶則也 古本用呵字 今本皆易用時字 或用便字」とあり、崔世珍は「旧本」の「呵」に相当する「時」を朝鮮語の{-mien}, {-gedyn/-edyn}のよくなものとして捉えていたことが伺える。「V了, 便」が{-mien}に訳されている例が1例ある。他の接続語尾の出現状況は次の通りである:-genyr ~すると:4例; -geni 'oa ~するが:3例; -ynmarAn ~するが:1例; -odAi ~するが:3例; -na ~するが:1例; -ymie ~するし:5例; -esie ~して:1例; -yra ~するために:3例; -endi ~してから:2例; -goza ~してからはじめて2例;

8. 連体形, 体言形

8.1. 連体形

「V了的NP」は「動詞連体形+NP」で訳される。連体形にも{-φ-}, {-ge-}, {-nA-}, {-de-}などの先語末語尾が結合し得るが、出現したのは{-φ-}, すなわち過去時の事柄を表す{-yn}「～した」の例のみである。

(68) 新上了的弓 (下 30b8)

gAs 'en('ien)jyn hoaryr

今しがた張った弓を

他に次のような例がある：将這切了的草：'i sahAron dipyrdaga「この切った草を」(上 20a2)；今年新鬪了的十分壮的馬：'ors bomyi sairo sienhAn gAjang jangsirhAn marira「この春新たに去勢したとても元気な馬だ」(下 8b5)；已前盤纏了的火帳：'ijien 'ei bsygo diegyn gesdyr「前に遣ってつけておいたもの」

(69) 那客人去了的後頭 (上 50b1)

gy nagynai gan hu 'ei

あの客人が去った後で

(70) 商量了價錢然後 (下 31b6)

gabsyr 'yironhAn hu 'ei

値を相談した後で

漢語としては(69)と(70)は構造の異なるもので、(70)は「然後」の前で切れるべきものだが、崔世珍は「然後」までを一つの塊として諺解を施している。竹越孝(2005:7-8)はこうした分句を「朝鮮習」とし、司訳院における分句の伝統と見なしている。(70)の例は漢語の朝鮮語訳もこうした「朝鮮習」に基く解釈がなされていることを物語る。これらは独り司訳院の伝統であるというよりも朝鮮における漢文懸吐の影響と見るべきかも知れない。現代朝鮮語でも{~han 'ienhu(然後)}「~したしかるのち」という言い方が存在するが、これも漢文懸吐の読法の名残と思われる。{-yn hu 'ei}は「V了O」の訳として上 53a8 にも出る。以下ではこのように連体形を含む文法化した形式と見なし得る形に訳された例を見る。

8.2. 連体形を含む文法化した形式

「恐らく」を表す「敢」の後に「了」の出る文は{連体形+dAshA-}「~のようだ」と訳される。¹⁸⁾

(71) 敢出去了 (下 2a3)

nagan dAshAda

出かけたようだ。

このように{-φ n dAshA-}の例が上 33b1, 上 57b5, {-yr dAshA-}の例が上 40b1 に出る。

(72) 也一般賣了 (下 62b4)

sdo hAn gajiro pAr gesira

またおなじに売るだろう。

{-yr gesi-}「~するだろう」になる例は下 64b7, 下 10b6, 下 27a7 である。

(73) 比及到那裏尋了店時 (上 66b8)

diei ga diem 'edyr sgAr 'oa

あそこに行って宿をみつけるのとともに

{-yr sgAr'oa}は連体形{-yr}に属格助詞が付き、さらに動詞{gArb-}「並ぶ」の連用形が付いたもので、「比及～V了～時」の訳としてこのように動詞に後置されるか、4.3.で見たように、動詞の体言形に{mAcAr sgAr'oa}「終えるとともに」の形で現われる。この連体形は動名詞としての用法と考えられる。

8.3. 体言形

体言形の例も{-φ-}、すなわち過去時の事柄を表す{-yn}「～した」の例のみである。

(74) 輸了的 (下 37a8)

mod 'igyinAn

勝てなかつたものは

(75) 切了一斤猪肉 (上 23a2)

sahAroni hAn gyn 猪肉 'ei

切ったのが一斤の豚肉で

(75)は意識と見なすべきであろう。

9. 結語

『翻訳老乞大』中の助詞「了」の中世朝鮮語訳の検討から次の諸事実が明らかになった。①「已然変化」を意味する句末助詞「了」は、先語末語尾{-ge/e-}及び{-φ-}を含む終結形に訳されている。先語末語尾{-ge/e-}の多用は、「新しい事態が発生したということを確認する語気」としての「了」の訳に「確認法」とされる先語末語尾が用いられたためであると考えられる。{-eira}が先語末語尾{-e-}を含むことを勘案すれば「事態発生の確認」としての叙述の語気をこれにも見出すことが出来る。また、一回性を持つ過去時の事態を表す「了」の訳には{-φ-}が用いられるようである。②「将然変化」の訳には{-nA-}と{-ri-}が主に用いられるが、「将然変化」の「了」の訳として現われる{-nA-}は{-nAnira}「～するのだ」という超時間的叙述の形で用いられている。一方、{-nA-}には現在完了としての用例が見られ、また「來了」の訳語として現われる動詞{ 'o-}「来る」に{-nA-}のついた形式には現代朝鮮語に繋がる意味用法が観察される。

③「了」の訳文中感動法先語末語尾との共起は、{-φ-}, {-nA-}には見られず{-ge/e-}, {-ri-}には現われる。¹⁹⁾ ④動態助詞「了」が先語末語尾を含む終結形に訳される例が少なかったのに対して、代表的な接続形{-go}, {-e}に訳された「了」に占める「V了O」の数は多い。⑤接続語尾に関して「了」との関わりから注目し得るものは、「V了時」, 「V了O時」の訳が多くの場合{-mien}, {-gedyn/-edyn}となっていることで、これは崔世珍の「単字解」の「時」に関する記述と一致する。⑥連体形に訳されるもののうちには「朝鮮習」による分句に従ったと考えられる例があり、恐らくは漢文懸吐の伝統による朝鮮語訳であると考えられる。⑦「了」が{-e 'is-}, {-e bAri-}等の分析的アスペクト形式や{-yr gesi-}のような連体形を含む文法形式に訳されるものがある。⑧「敢～了」は{連体形+dAsha-}に、「比及～了」は{-yrs gAr 'oa}に訳されるといった傾向が見られる。

総じて言って、崔世珍による「了」の翻訳は原文の意味を注意深く解釈した上でなされていると考えられる。「老朴」の他の文法マーカーの翻訳の様相を併せて考察することにより、十六世紀朝鮮語の先語末語尾等の用法と崔世珍の漢語解釈の様相がさらに明らかになると思われる。

注

- 1) 近代漢語の定義については蔣紹愚(2005)参照。
- 2) 例えば句末の「了也」を含む「錯了也瞎漢：間違っておるぞ。目の見えぬ奴め。」を「間違つて(錯)悟つ(了)ている(也)目の見えぬ奴め(瞎漢)」と誤訳したり、反復を表す「V來V去」を含む「看來看去：繰り返し見る」を「来る時に(來)見て(看), 去る時に(去)見る(看)」のように誤訳する例等がある。伊藤英人(2004), ITO(2004)参照。
- 3) 『老朴集覽』の編纂に関しては竹越孝(2006)参照。
- 4) 「する」を意味する動詞 'hAda' を以て代表とする。以下、中世朝鮮語のローマ字転写は「河野式」(河野六郎 1947, 1979: 96-98)によるが, 'arai 'aは大文字 A とする。
- 5) 文の述語として文末に終結語尾とともに現われる形式。
- 6) 韓国では一般に「連結語尾」と称する。日本語の接続助詞に相当する。

- 7) 高永根(1997:126-128)参照.
- 8) 李丙疇(1966)所収影印参照. 不鮮明な箇所は亜細亜文化社(1973)影印参照. 李崇興(1998:171)は「了當」を「①辯理;処理. ②完畢;了結. ③表示已成事實」としている.
- 9) 蔣紹愚・曹廣順(2005:229-230), 太田辰夫(1958:384)参照.
- 10) 「旧本老乞大」は金文京ほか(2002)による.
- 11) 諺解の訳文の区切りは「/」で示し, 原文を『老乞大諺解』, 鄭光(1995)等によって校正した箇所は斜字体にし括弧内に改めた形を入れた. 問題となる「了」とその朝鮮語訳及び日本語訳部分に下線を付した. 日本語訳は朝鮮語からの直訳である.
- 12) 蔣紹愚, 曹廣順(2005)の「動態助詞」を「動態助詞」, 「事態助詞」及び「語気詞」を「句末助詞」と仮に称することとする.
- 13) 「旧本」から「翻老」以降の「也」等の修訂に関しては, 竹越孝(2002), 佐藤晴彦(2002)参照.
- 14) 感動法については 高永根(1997)参照.
- 15) 伊藤英人(1990)参照. 高永根(1981:73)は「hAma ‘osinAngida すでに来つつあります」(月印釈譜十 8a)を「完了」と見なしている.
- 16) {-ri ‘e-}の例は幾時税了: ‘enyjei besgirienio 「いつ文書を書くだろうか」(下 18b1)の1例のみであり, 「旧本」で「幾時税得了」となっている. 今回考察に含めない.
- 17) 上 58a7 に一文中の二つの「了」を一つにして{-yrga jebpeira}「~するかと恐ろしい」と訳す例があるがここでは文の終結形と見なさない.
- 18) 「単字解」の「敢」に「又疑似也 敢知道 ‘anAn dAshAda」と見える.
- 19) {-nA-}に感動法が結合する例は「也」の訳には現われる. 最後の別れの場面での発話である, 大哥我們廻去也: kyn hieng ‘a ‘uri doraganosora 「大兄よ, 私たちは帰る」(下 72b5)がそれである. {-nA-}に感動法が結合する形は『杜詩諺解』などに頻出するが, 十六世紀口語として些か古風な言い方であった可能性を含め, 「也」など他の助詞の訳を検討する必要がある.

参考文献(漢字表記は拼音順)

- 安秉禧・李珣鎬 1990. 『中世國語文法論』, 學研社, Seoul
- 曹廣順 1995. 『近代漢語助詞』, 語文出版社, 北京

- 高永根 1981.『中世國語`yi 時相 goa 叙法』,塔出版社, Seoul
- 高永根 1997.『標準中世國語文法』,集文堂, Seoul
- 高永根 1998.『中世國語`yi 時相 goa 叙法 增補版』,塔出版社, Seoul
- 河野六郎 1947.「朝鮮語の羅馬字転写試案」, Toyogo kenkyu 2, 河野六郎 1979.
pp.96-97
- 河野六郎 1952.「中期朝鮮語の時称体系について」,『東洋学報』34-1~4, 河野六郎 1979.
pp.508-534
- 河野六郎 1979.『河野六郎著作集』,平凡社, 東京
- ITO, Hideto 2004. 'Grammatical Markers in Early Baihua and Late Mediaeval Korean in Mengshan's Sayings', *Corpus-Based Approaches to Semantic Structures*, John Benjamins
pp.33-49
- 蔣紹愚 2005.『近代漢語研究概要』,北京大學出版社, 北京
- 蔣紹愚・曹廣順 2005.『近代漢語語法史研究綜述』,商務印書館, 北京
- 金文京・玄幸子・佐藤晴彦・鄭光 2002.『老乞大一朝鮮中世の中国語會話讀本一』,平凡社, 東京
- 蘭州大學中文系語言研究室・計算機科學系編 1991.『老乞大朴通事索引』,語文出版社, 北京
- 李丙疇 1966.『‘老朴集覽’考』,進修堂, Seoul
- 李崇興外 1998.『元語言詞典』,上海教育出版社, 上海
- 劉堅外 1992.『近代漢語虛詞研究』,語文出版社, 北京
- 太田辰夫 1958.『中国語歴史文法』,江南書院, 東京
- 太田辰夫 1988.『中国語史通考』,白帝社, 東京
- 伊藤英人 1990.「現代朝鮮語過去テンス形式の用法について(1)」,『朝鮮学報』137, 天理, pp.1-53
- 伊藤英人 1992.「中世韓國語直說法 ‘yi 用法 ‘ei 對 ha ‘ie」『國語學論集』1, 太學社, Seoul, pp.83-93
- 伊藤英人 1994.「中世韓國語 ‘yi hAnAda ‘oa hAda ‘ei daiha ‘ie」,『朝鮮学報』151, 天理, pp.1-34
- 伊藤英人 2001.「關於中世韓語時態與體的範疇」,『韓國學研究叢書韓國傳統文化語言文化卷』浙江大學韓國研究所, 學苑出版, 北京, pp.31-53

- 伊藤英人 2004.「刊經都監訳経僧の白話解釈と翻訳をめぐる」,『朝鮮学報』第193輯, 天理, pp.1-21
- 遠藤光暁 1990.『《翻譯老乞大・朴通事》漢字注音索引』,好文出版,東京
- 徐尚揆 1997.『翻譯老乞大 語彙索引』博而精, Seoul
- 鄭光 1995.『譯注 翻譯老乞大』,太學社, Seoul
- 志部昭平 1982.「中期朝鮮語陳述法語尾小攷」,『朝鮮学報』104, 天理, pp.1-23
- 志部昭平 1987.「中期朝鮮語一用言の接尾辞と語尾」,『基礎ハングル』11, 三修社, 東京, pp.50-55
- 志部昭平 1990.『諺解三綱行実図研究』,汲古書院,東京
- 竹越孝 2002.「從《老乞大》的修訂來看句尾助詞“了”的形成過程」,『中国語学』249, 東京, pp.42-60
- 竹越孝 2005.「『翻譯老乞大』と『老乞大諺解』における分句の相違」,『KOTONOHA』31, 古代文字資料館, 愛知県立大学, 愛知, pp.3-8
- 竹越孝 2006.「『老朴集覽』と『翻譯老乞大・朴通事』の編纂順序」『東ユーラシア言語研究』第1集, 好文出版, 東京, pp.150-163
- 佐藤晴彦 2002.「旧本『老乞大』の中国語史における価値」,『中国語学』249, 東京 pp.20-41

影印資料

- 「旧本」旧本老乞大『元代漢語本《老乞大》』慶北大學校出版部(2000), 大邱
- 「翻老」『老乞大』(翻譯老乞大)上卷, 白淳在氏藏, 中央大學校影印, 1973, Seoul, 『老乞大』(翻譯老乞大)下卷, 趙炳舜氏藏, 仁荷大學校附設人文科學研究所影印, 1975, Seoul
- 「老諺」『老乞大諺解』奎章閣叢書, 第9, 1944, 京城, 亜細亜文化社影印, 1973, Seoul
- 『老朴集覽』乙亥銅鑄字本, 東國大學校圖書館藏, 李丙疇(1966)所收
- 『新增類合』金東旭氏藏, 檀大出版部影印, 1972, Seoul
- 『訓蒙字會』叡山文庫本, 檀大出版部影印, 1971, Seoul

『번역노걸대』에 나타난 「了」의 중세한국어 번역에 대하여

이토 히데토(伊藤英人)

근대중국어와 후기중세한국어의 대역자료인 『번역노걸대』 중국어문에 나타난 조사「了」의 중세한국어 번역문에 대한 분석을 시도한 결과, 다음과 같은 사실을 확인할 수 있었다. 발화시 이전의 변화를 나타내는 문말조사 「了」는 많은 경우 선어말어미 {-ge/e-} 및 {-ϕ-}를 포함한 종결형으로 번역된다. 선어말어미 {-ge/e-}가 많이 나타나는 이유는 “새로운 사태가 발생한 것을 확인한다”는 문말조사 「了」에 가까운 용법을 가진 「확인법」 선어말어미인 {-ge/e-}가 사용되었기 때문이라고 생각된다. 발화시 이전의 변화를 나타내는 문말조사 「了」의 용례 중, 과거시에 있어서의 일회성 사건을 표시하는 「了」에는 {-ϕ-}, 즉 부정법이 사용되는 경향이 있다. 발화시 이후의 변화를 나타내는 문말조사 「了」의 경우, {-nA-}와 {-ri-}가 주로 사용되는데, {-nA-}에는 현재완료의 용례가 존재한다. 시상조사 「了」가 종결형으로 번역되는 예는 많지 않은 데 비해 연결형 어미인 {-go}, {-e}로 번역된 「了」는 시상조사의 예가 많다. 「V了時」, 「V了O時」는 대부분의 경우 {-mien} 혹은 {-gedyn/-edyn}으로 번역되는데 이는 최세진의 「단자해」에 나오는 「時」에 관한 기술과 일치된다. 관형사형으로 번역된 예들 중에는 한문현토의 전통에서 유래된 것으로 간주할 수 있는 「한국식 분구법」의 용례가 존재한다. 또 「了」를 {-e ‘is-}, {-e bAri-} 등 분석적 아스펙트 형식, 혹은 {-yr gesi-}과 같은 형식으로 번역한 예도 존재한다. 「敢～了」는 {관형사형+dAshA-}로, 「比及～了」는 {-yrs gAr ‘oa}로 번역된다. 전체적으로 최세진은 「了」의 다양한 의미용법을 살린 번역을 시도하려 한 것으로 보이는데 이는 근대중국어 번역문헌인 15세기 간경도감 선어록의 번역 등과는 판이한 번역자세라 할 수 있다.